

報道各位

## トルコ船用工業セミナーの開催結果について

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、日本財団助成事業として、9月25日（水）にトルコのイスタンブールにて「トルコ船用工業セミナー」を開催した。今回のセミナーは、老朽船の増加が顕著となっているトルコにおいて、トルコ船主協会及びトルコ造船工業会の協力を得て実施し、8年ぶりの同地での開催であったが、同地船主や造船所をはじめ前回は上回るトルコ側海事関係者170名の来場者があった。当会からは、山田信三会長、小野正治副会長、卜部礼二郎海外市場開拓検討WG座長、上田修三海外漁船市場開拓WG座長をはじめ、19社の会員企業から56名が参加した。

セミナー冒頭、山田会長より、「トルコは、近年、海事産業が急速に発展しており、欧州の商船だけでなく、オフショア船、漁船等の高付加価値船の世界的な製造拠点となっている。今回当地でセミナーを開催することは、多くの海事関係者に我が国の船用製品を知ってもらえる絶好の機会として捉えている。」旨の挨拶を行った。続いて、トルコ船主協会の事務局長（Secretary General）である Hüseyin ÇINAR 氏より、「トルコ船主の保有船腹量は世界15位、トルコ籍船の日本建造船は18%を占め、両国の関係強化は重要。二国間関係のさらなる発展を期待している。」との挨拶があった。なお、トルコ船主協会からは、副会長（Vice Chairman）の Cihan Ergenç 氏も出席した。また、トルコ造船工業会の事務局長（Secretary General）である Mehtap Özdemir 氏より、「トルコ造船業は600年の歴史を有し、世界でも有数の建造能力・修繕能力を誇っている。」とし、同国造船所で行われている革新的かつ環境に優しいプロジェクトについての紹介があった。

挨拶につづき、参加会員企業17社が自社製品・技術の最新情報等に関するプレゼンテーションを行った。また、プレゼンテーションと並行し、参加企業19社が設置した商談テーブルでは、来場者への製品や技術に関する詳細説明やプレゼンテーションに対する質疑応答など活発な意見交換が行われた。

セミナー終了後には寿司レセプションを開催し、現地顧客等と会員企業との歓談で閉会間際まで賑わった。

セミナーに参加した会員企業からは、従来からの顧客に加え新規顧客に対して直接最新情報を説明できる貴重な機会となったなどの声が多数あり、我が国船用工業のPRと現地顧客等との関係発展を図ることができた。

一方、セミナー翌日の9月26日（木）には、上田座長をはじめ参加会員企業等18名が現地造船所（CEMRE Shipyard 及び TERSAN Shipyard）を訪問し、現場視察や今後の動向等について意見交換を行った。

造船所を訪問した会員企業からは、多くの高付加価値の船舶が建造される現場を目の当たりに見ることができ、非常に貴重な機会だった。また造船所担当者から丁寧な説明や情報提供を受け、非常に勉強になったとの声があった。

### 【トルコ船用工業セミナー開催概要】

日時：2019年9月25日（水）

会場：イスタンブール・マリオットホテル・アジア

（住所：Kayisdagi Cad. No:3, Astasehir 34750 Istanbul, Turkey）

協力団体：トルコ船主協会（Turkish Shipowners' Association）

トルコ造船工業会（Turkish Shipbuilders' Association）

実施内容：以下URL 参照

<https://www.jsmea.or.jp/en/seminar/2019/turkey/>

参加企業：計19社

- ・プレゼンテーション実施及び商談テーブル設置企業：17社  
 (株)IHI 原動機、かもめプロペラ(株)、伊吹工業(株)、川崎重工業(株)、セムコ(株)、  
 大晃機械工業(株)、大洋電機(株)、東京計器(株)、ナカシマプロペラ(株)、(株)浪速ポンプ製作所、  
 ナブテスコ(株)、日本ペイントマリン(株)、阪神内燃機工業(株)、富士電機(株)、富士貿易(株)、  
 三菱重工マリンマシナリ(株)、ヤンマー(株)
- ・商談テーブル設置企業：2社  
 (株)イソダメタル、宇津木計器(株)

### 【トルコ造船所見学概要】

日時：2019年9月26日（木）

場所：CEMRE Shipyard および TERSAN Shipyard

参加企業等（18名）：

伊吹工業(株)、神奈川機器工業(株)、セムコ(株)、大晃機械工業(株)、大洋電機(株)、  
ナカシマプロペラ(株)、富士貿易(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、ヤンマー(株)、  
日本船用工業会事務局

(参考)

#### <CEMRE Shipyard>

- ・会社概要  
 年間最大12000トンの鋼材処理能力を持ち、フェリーや特殊船の建造に特化している。
- ・最大船型：2990DW ・年間最大竣工量：4340DWT
- ・主な設備数 Quay：2、Slipway：2

#### <TERSAN Shipyard>

- ・会社概要  
 1990年当初、船舶サービス会社として設立。その後2001年に同グループ初の造船所  
 Tersan ShipyardがTuzla/Istanbul地域に設立。2008年に新造船と修繕事業の一部がYalova  
 地域に移り、現在に至る。
- ・最大船型：12100DWT ・年間最大竣工量：65800DWT
- ・主な設備数 Floating Dock：3、Outfitting Quay：2、Repair Berth：1、Slipway：1

### 【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人 日本船用工業会 業務部 芝田

TEL：03-3502-2041 FAX：03-3591-2206 Email：[shibata@jsmea.or.jp](mailto:shibata@jsmea.or.jp)

(9月25日セミナー関係)



開会挨拶を行う山田会長



会場内の様子



トルコ船主協会 Hüseyin ÇINAR 事務局長  
による来賓挨拶



トルコ造船工業会 Mehtap Özdemir 事務局長  
による来賓挨拶



会員企業によるプレゼンの様子



閉会挨拶を行う小野副会長



商談会場の様子



山田会長によるレセプション  
開会挨拶の様子



レセプション会場の様子



寿司職人による会場内での調理の様子



ト部座長によるレセプション「中締め」の様子

(9月26日造船所見学関係)



造船所見学の様子 (CEMRE SHIPYARD)



造船所見学の様子 (TERSAN SHIPYARD)

